

共同獣医学課程 実務経験のある教員等一覧表（五十音順）

| No | 実務経験のある担当教員等 | | | 職務経歴 | | | 科目コード | 実務経験関連 授業科目 | 関連する授業内容 |
|----|-----------------|-----|--------|------------------------------------|----------------------------------|--|--------|--------------|---|
| | 所属 | 職名 | 氏名 | 時期（期間） | 職種 | 職務内容 | | | |
| 1 | 獣医学研究部門（3/23追加） | 教授 | 石井 利明 | 昭和62年4月～平成3年1月 | 小野薬品工業株式会社 | 研究員として新薬の研究開発に従事 | 601130 | 機能制御薬理学 | 企業での新薬開発研究の経験を生かし、病気により乱れた制御機能の補填や正常化を図る薬物療法と、薬物とその標的分子間に存在する相互連関について講義している。また、薬物の効果を最大限に発揮させ、副作用を最小限に留めるための理論と、薬物動態・薬力学を検索し統合を図る合理的薬物治療の基礎知識を講義している。 |
| 2 | 獣医学研究部門 | 助教 | 伊藤 めぐみ | 平成9年4月～平成26年3月 | 北海道立総合研究機構 畜産試験場 | 研究職員：乳牛の周産期疾病および感染症の予防に関わる研究 | 511900 | 産業動物獣医療実習 | 産業動物の診療業務を行ってきた経験を活かし、疾病家畜の診断法、治療法、予防法に関する実習を行っている。 |
| 3 | 獣医学研究部門 | 教授 | 小川 晴子 | 昭和59年4月～平成4年9月 | マルコ製薬株式会社 | 研究員：新薬の研究開発 | 512170 | 課題研究 | 企業での新薬開発における薬理学実験、動物実験、毒性試験の経験を生かし、課題研究の指導を行なっている。 |
| 4 | 獣医学研究部門 | 教授 | 川本 恵子 | 平成3年4月～平成5年9月 | 杉谷乗馬クラブ動物診療所 | 感染症の検査・診断業務 診療業務 | 511340 | 臨床応用免疫学 | 家畜の診療、感染症の検査・診断 魚病、エキゾチックの診療、検査、診断 |
| | | | | | | | 511390 | 伝染病学総論 | |
| | | | | | | | 511420 | 伝染病学実習 | |
| | | | | | | | 511470 | 魚病学 | |
| | | | | | | | 511980 | コミュニケーション論演習 | |
| 5 | 畜産フィールド科学センター | 教授 | 木田 克弥 | 昭和62年1月～平成16年12月 | 北海道農業共済組合連合会研修所 | 技術主幹など： 獣医師の卒後教育、獣医新技術の研究開発と現場への普及 （特に、乳牛の代謝プロファイルテスト技術の開発と普及） | 511830 | 生産獣医療学実習 | 酪農場における乳牛の生産獣医療の技術開発と普及の経験を活かし、獣医学課程の学生に対して、パラメディカル技術としての生産獣医療学について、実習を行っている。 |
| 6 | 生命・食料科学研究部門 | 教授 | 木下 幹朗 | 平成7年9月～平成10年8月 | 科学技術振興機構 | 科学技術特別研究員（厚生労働省国立循環器病センター派遣）：循環器病疾患の発症メカニズムについて、おもに生化学・細胞生物学の手法を用いて解析した。 | 421180 | 生物化学 | 代謝系に関する講義について、上記の時に得られた知見手法を交えて講義をしている。 |
| 7 | 生命・食料科学研究部門 | 准教授 | 草場 信之 | 平成9年4月～平成31年3月 | 乳房炎における各種検査、獣医師及び酪農家への乳房炎防除対策の助言 | 乳房炎における各種検査、獣医師及び酪農家への乳房炎防除対策の助言 | 511830 | 生産獣医療学実習 | 乳検情報の解析について、現場で経験した臨床例を材料に、より具体的に実践的な演習を行っている。 |
| | | | | | | | 601810 | 農畜産演習 | 乳房炎防除対策の助言を行ってきた経験を活かし、衛生的搾乳技術を実習において、衛生的搾乳方法を教育する。 |
| 8 | 環境農学研究部門 | 准教授 | 熊野 了州 | 平成17年4月～平成19年3月 平成19年4月～平成27年3月 | 沖縄県植物防疫協会 琉球産経株式会社 | 研究員，サツマイモ害虫に関する生態学的研究及び防除技術開発 | 421160 | 生態学 | 昆虫の生態学的研究の知見を活かし、生態学における動物の個体群管理に関する |
| 9 | 環境農学研究部門 | 教授 | 小池 正徳 | 昭和61年4月～昭和63年3月 | (株)サカタのタネ 君津育種場 研究員 | アブラナ科作物（キャベツ、コカブ、菜っ葉類）の育種学・栽培学・病理学的研究および農家への栽培指導 | 421130 | 土壌栽培学基礎 | 土壌栽培学基礎における作物保護学分野（植物病理学・応用昆虫学）の教育に関しては、サカタのタネ研究員時代の経験に基づいた知識を講義の参考にしている。 |

| No | 実務経験のある担当教員等 | | | 職務経験 | | | 科目コード | 実務経験関連 授業科目 | 関連する授業内容 |
|--------|--------------------|-----|-------|----------------------|--------------------|--|--------|----------------|--|
| | 所属 | 職名 | 氏名 | 時期(期間) | 職種 | 職務内容 | | | |
| 10 | 環境農学研究部門 | 助教 | 小山 耕平 | 平成11年4月～平成11年12月 | 農業研修生(大学を1年間休学) | 農業研修生として、住み込みで、三重県および熊本県の有機農業を行う農場で働く。 (三重県いわん農場、熊本県坂本農場) | 421160 | 生態学 | 環境に配慮した農畜産業の保全への応用の観点から、生物と環境との関わりについて講述する。 |
| 11 | 人間科学研究部門 | 講師 | 斉藤 準 | 平成 21年 10月～平成 24年 9月 | 北海道大学 高等教育推進機構 | 特定専門職員：学生への正課外学修支援および教員への教育支援 | 351130 | 物理学概論 | 授業外学習の教材開発や学生サポート、授業内学習のアクティブラーニングなどに実務経験を活用している。 |
| | | | | | | | 352040 | 物理学実験 | |
| | | | | | | | 421220 | 基礎物理学 | |
| 12 | 原虫病研究センター | 教授 | 鈴木 宏志 | 1985年4月～2001年3月 | 中外製薬株式会社 | 主席研究員：発生工学の応用による遺伝子の機能解析 | 511250 | 実験動物学実習 | 発生工学は、実験動物学の中核をなす領域である。実験動物学の中で発生・生殖工学の真髄を紹介・指導している。 |
| 13 | 獣医学研究部門 | 教授 | 高橋 英二 | 昭和61年4月～平成30年4月 | 十勝農業共済組合 獣医師 | 産業動物の診療業務と衛生管理指導業務 | 511900 | 産業動物獣医療実習 | 産業動物の診療業務を行ってきた経験を活かし、疾病家畜の診断法、治療法、予防法に関する実習を行っている。 |
| | | | | | | | 511580 | 応用動物衛生学 | 疾病予防のための衛生管理指導業務を行ってきた経験を活かし、家畜の衛生管理について経験談を交えた講義を展開している。 |
| 14 | 動物医療センター | 助教 | 田川 道人 | 平成21年 4月～平成23年 3月 | 狩野動物病院 | 獣医師：動物診療 | 511640 | 臨床診断学 | 動物病院での検査、診断経験を活かし臨床診断学で獣医療における様々な検査の意味と解釈について講義を行っている。 |
| | | | | | | | 511890 | 伴侶動物獣医療実習 | 動物病院での診療経験を活かし、伴侶動物獣医療実習において実際の臨床現場に即した診断と治療について学生実習に展開している。 |
| 15 | 獣医学研究部門 | 准教授 | 都築 直 | 平成20年4月～平成22年3月 | 北海道農業共済組合連合会 | 診療業務(牛)、家畜共済制度の運用 | 511700 | 放射線獣医療・画像診断学 | いずれも臨床の科目であり、臨床経験を有するため、実症例を提示して教育ができています。 また、幅広い動物種の臨床経験があるので、様々な観点から教育をすることができている。 |
| | | | | | | | 511710 | 放射線獣医療・画像診断学実習 | |
| | | | | | | | 511770 | 外科学総論 | |
| | | | | | | | 511780 | 軟部組織外科学 | |
| | | | | | | | 511790 | 整形外科学 | |
| 511800 | 応用外科学 | | | | | | | | |
| 16 | グローバルアグロメディン研究センター | 教授 | 南保 泰雄 | 平成5年4月～平成26年2月 | 日本中央競馬会 | 臨床業務 | 511850 | 繁殖生理学各論 | 生産獣医療、繁殖生理学、産業動物獣医療実習、馬臨床学(アナウンス) |
| | | | | | | | 511900 | 産業動物獣医療実習 | |
| 17 | 原虫病研究センター | 教授 | 西川 義文 | 平成15年4月～平成17年11月 | 東レ株式会社 先端融合研究所 研究員 | がんワクチンに関する研究開発 | 601100 | 分子遺伝情報科学 | 企業でのがんワクチン開発担当の経験を活かし、分子遺伝情報科学の組換えDNA技術の講義では、企業の開発現場の視点に立って基礎研究から応用展開の重要性を意識した講義を展開している。 |
| | | | | | | | 601110 | 生化学実習 | 生命現象を分子レベルで理解するための生化学的な実験において、安全対策及び実験データの取り扱い・解釈について企業での経験を活かし、学生実習として展開している。 |

| No | 実務経験のある担当教員等 | | | 職務経験 | | 科目コード | 実務経験関連 授業科目 | 関連する授業内容 | |
|--------|-----------------|-----|-------|-------------------|----------------------------------|---|-------------|------------------|--|
| | 所属 | 職名 | 氏名 | 時期(期間) | 職種 | | | | 職務内容 |
| 18 | 生命・食料科学研究部門 | 教授 | 西田 武弘 | 昭和63年 4月～平成20年 3月 | 農林水産省畜産試験場、畜産草地研究所、国際農林水産業研究センター | 黒毛和種牛の胎子を妊娠したホルスタイン種乳牛の、分娩前60日間の妊娠に要する代謝エネルギー量を求めた。茶系飲料残渣をサイレージにして牛に給与し、その飼料価値を検討した。3年間タイ王国に駐在。インドシナ半島諸国で利用可能な飼料の実態を明らかにし(飼料資源データベース)、現地の牛への適正給与水準を明らかにし、英語版飼料標準を作成 | 351020 | 農畜産科学概論Ⅰ(畜産学) | 畜産草地研究所でのウシ飼養管理に関する研究を担当していた経験を活かし、これらの講義では、家畜の飼料、栄養素の知識、消化管の構造、吸収機構、体内での代謝、消化率、その測定手法、代謝病等について、現場での効率性、実用性を重視した講義を展開している。 |
| | | | | | | | 421100 | 家畜家禽論 | |
| | | | | | | | 421360 | 共通教育総合Ⅰ(家畜と環境問題) | |
| | | | | | | | 512050 | 家畜栄養学 | |
| | | | | | | | 602060 | 国際農畜産開発論 | 国際農林水産業研究センターでの海外赴任および現地での大学教員、タイ農水省との共同研究の経験を活かし、国際農畜産開発論では、熱帯地域特有の畜産業の特色や注意すべき点についてや、海外での業務遂行の心構えを重視した講義を展開している。 |
| 19 | 人間科学研究部門 | 准教授 | 平舘 善明 | 平成10年9月～平成16年3月 | 東京都立中学校および私立中学・高等学校 | 中学校技術・家庭科および高校情報科の非常勤講師を担当 | 362060 | 教育原理 | 教員実務経験にもとづき、現場の実情を反映させながら、授業を構成している。 |
| 20 | 獣医学研究部門 | 准教授 | 廣井 豊子 | 平成2年4月～平成4年2月 | 製薬系民間企業 研究所 (米国)政府系研究機関 | 抗菌薬の開発、食品に含まれる自然毒の高感度検出キットの開発に従事 公衆衛生問題となる人の疾患(感染症や生活習慣病)の機序について基礎並びに応用研究に従事 | 511520 | 獣医公衆衛生学 | 実務経験に基づいて、食品衛生上、あるいは、公衆衛生上問題となる人の疾患について、講義、実習を行う |
| | | | | 平成12年10月～平成13年9月 | | | | | |
| | | | | 平成15年1月～平成18年12月 | | | | | |
| | | | | 平成22年9月～平成24年8月 | | | | | |
| 21 | 獣医学研究部門 | 教授 | 古岡 秀文 | 昭和59年4月～60年3月 | 帯広食肉検査所 | 嘱託獣医師として食肉検査業務に従事 | 511260 | 病理学総論 | 食肉検査業務における症例や毒性病理症例を講義や実習に生かし、実務経験を反映した講義、実習を実施している。 |
| | | | | 昭和60年4月～61年3月 | 日本曹達株式会社 | 小田原研究所にて毒性病理担当 | 511320 | 病理学各論実習 | |
| | | | | 平成16年4月～現在 | 北海道社会福祉事業協会帯広看護専門学校 | 非常勤講師として病理学の講義を担当 | | | |
| 22 | 環境農学研究部門(6/4追加) | 准教授 | 山内 健生 | 平成19年4月～平成26年3月 | 富山県衛生研究所 | 研究員：衛生害虫の調査、食品混入害虫等の検査 | 602080 | 環境昆虫学 | 富山県衛生研究所での害虫の調査及び混入昆虫検査の経験を活かし、昆虫の多様性や畜産学・衛生動物学との関連性について、現場での経験を重視した講義を展開している。 |
| 23 | 獣医学研究部門 | 教授 | 山岸 則夫 | 平成17年6月～平成27年9月 | 岩手大学農学部附属動物病院 | 産業動物の内科外科診療 | 511770 | 外科学総論 | 獣医療や動物疾患に関する授業 |
| | | | | | | | 511780 | 軟部組織外科学 | |
| | | | | | | | 511790 | 整形外科学 | |
| | | | | | | | 511800 | 応用外科学 | |
| | | | | | | | 511820 | 産業動物外科学実習 | |
| 511900 | 産業動物獣医療実習 | | | | | | | | |
| 24 | 生命・食料科学研究部門 | 助教 | 山下 慎司 | 平成20年4月～平成26年3月 | 福島県 研究員 | 短大での食品科学講義および加工実習 社会人への専門講義および実習(醸造) 食品の成分分析・機能性分析 食品の放射性物質分析 | 421210 | 分析化学 | 短大での食品科学講義および加工実習 社会人への専門講義および実習(醸造) 食品の成分分析・機能性分析 食品の放射性物質分析 |

| No | 実務経験のある担当教員等 | | | 職務経験 | | | 科目コード | 実務経験関連 授業科目 | 関連する授業内容 |
|----|--------------|----|-------------|-------------------------|----------|---------------------------------------|--------|-------------|---|
| | 所属 | 職名 | 氏名 | 時期(期間) | 職種 | 職務内容 | | | |
| 25 | 人間科学研究部門 | 講師 | ロメロ ホシノ イサミ | 平成 24 年 4 月～平成 24 年 7 月 | 日本外務省研究省 | 中南米書国に派遣される若手の外交官にラテンアメリカ政治の非常勤講師を担当。 | 361100 | 政治学 | 外務省では、ラテンアメリカ政治の基盤である大統領制と民主主義の仕組みを教えた。この簡単バージョンを学部学生に教えている |

| No | 実務経験のある担当教員等 | | | 職務経験 | | | 科目コード | 実務経験関連 授業科目 | 関連する授業内容 |
|----|--------------|----|-------|----------------|--------------------------|-------------------------------|--------|-------------|--|
| | 所属 | 職名 | 氏名 | 時期(期間) | 職種 | 職務内容 | | | |
| 26 | 人間科学研究部門 | 教授 | 渡邊 芳之 | 平成2年4月～平成3年3月 | 長野県松本児童相談所 | 心理判定員(非常勤)として心理検査の実施、判定に従事した。 | 362070 | 教育心理学 | 「教育評価」の単元、「個性の評価」のセクションで各種心理検査の原理、実施法、判定法について講義している。 |
| | | | | 平成3年4月～平成3年10月 | 心理検査会社「日本・精神技術研究所」社員(常勤) | 内田クレベリン検査その他の心理検査の判定業務に従事した | | | |